

2019年度春学期 統計学 第9回
確からしさを記述する — 確率

浅野 晃
関西大学総合情報学部



「確率」って、よく聞くけれど🤔

「降水確率40%」って？

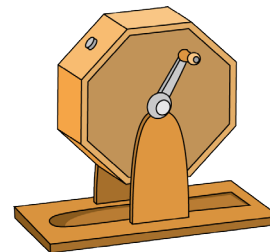
何の割合が40%？

機会
現在と同じ気象状況が
これから何度も何度も起きるとすると
そのうち40%の場合で雨になる

機会のうちの割合が40%

可能性の集合

くじびき



https://illpop.com/png_season/dec01_a07.htm

↓くじをひくと

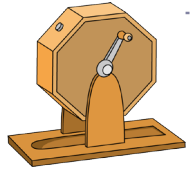
当たった！

現実におきたのは、
これだけ

他のことは
おきていない

可能性の集合

しかし



当たった

他の可能性もあった

はずれ 当たり はずれ

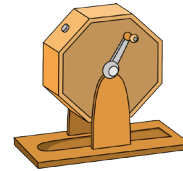
こうなるかも
知れなかった

「偶然」 (人知が及ばない)

[ランダム現象] という

可能性の集合

現実 可能性



当たった

はずれ 当たり はずれ

可能性のうち
どの結果になりやすいか?

を, 数値で表せないか?
(ギャンブラーの数学)

「確率」の定義💡

頻度による確率の定義

あるできごとがおきる確率は,
[事象]

そのできごとがおきる可能性のある
十分多くの機会があるとき,
[試行]

それらの機会のうち
そのできごとがおきる機会の数の割合

くじを十分多くの回数ひくとき,
10回中3回の割合で当たるなら, 確率0.3

頻度による確率の定義

あるできごとがおきる確率は、

そのできごとがおきる可能性のある
十分多くの機会があるとき、

ダウト(1) ダウト(2)

それらの機会のうち
そのできごとがおきる機会の数の割合

確率の定義・ダウト(1)

「十分多くの機会」？

数学でいう「十分多く」とは、

だれかが「十分ではない」といったら、
それに応じていくらでも多くすること
ことができる

現実には無理😞

確率の定義・ダウト(2)

機会が「ある」とき？

機会が「あった」ではない

つまり、未来におきるできごとの
話をしている。

未来のことはわからない。

確率を定義はしたけれど

定義することと、
測ることとは別

1メートルの定義は？

1キログラムの定義は？

確率は測定できないけれど

「十分多くの機会」は現実には無理
未来のことはわからない

でも

過去を未来に延長できると考える

十分多くは無理でも、
「そこそこ多く」の機会があれば
そこそこの精度で確率を推定できる

[大数の法則]

というわけで確率は

「十分多くの機会」に関する話を
次の1回の機会にあてはめている

ギャンブラーは、
日常的に賭けをしているから、
確率の大きいできごとを見抜いて
賭ければ、全体として勝つことができる

どんな名ギャンブラーでも、1回の賭けに
必ず勝つことはできない

もうひとつの確率の定義🤔

さいころで1が出る確率

なぜ1/6なのか？

「1」は1通り
1, 2, 3, 4, 5, 6の6通り $=1/6$

確率の [ラプラスの定義] という

さっきの「頻度による定義」とは違う…

ラプラスの定義の意味

$$\frac{n \text{回} \text{ 「1」 は 1 通り}}{1, 2, 3, 4, 5, 6 \text{ の 6 通り}} = \frac{n/(6n)}{6} = 1/6$$

n 回 n n n n n n

1 ~ 6 が皆同じ確率で出る、と認めるなら
「同様に確からしい」

さいころを $6n$ 回ふる。 (n は十分大きい)

n が十分大きければ、
1 ~ 6 は同じ回数出る (頻度による定義)

ラプラスの定義の意味

1 ~ 6 が皆同じ確率で出る、と認めるなら
「同様に確からしい」

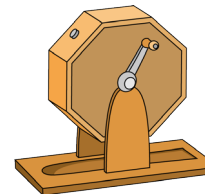
正しいと証明する方法はない

このさいころは偏っていない
だろうという
信頼によって認めているだけ

条件付き確率と独立 🤔

統計学でいう「独立」とは

2つのランダム現象がおきるとき、
一方の結果がもう一方に影響しない



2度続けてひくとき、

1度めで出た玉を戻さなければ、独立でない

1度めで当たりが出ると、
2度めは当たりが減っている

正確には [条件付き確率] を使って定義する

条件付き確率

「雨が降る確率」

ふつう、こちらの方が大きい

「雨の予報が出ているときに雨が降る確率」

何かがおきたときに
何かがおきるとわかったときに
何かがおきるのが確実なときに

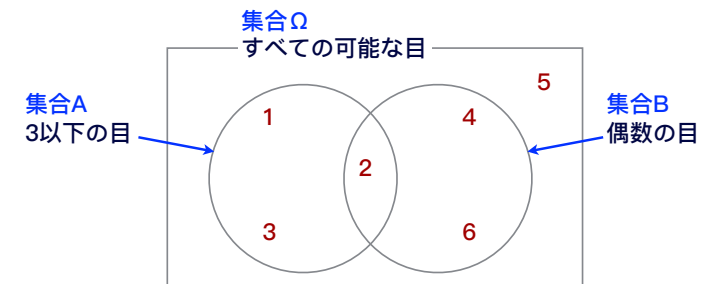
別のことがおきる確率

「何か」がおきることの影響を受けることがある
(「何か」と「別のこと」に因果関係がなくても)

さいころの例で

集合を表す「ベン図」を使って考える

さいころの「可能な目」は、1,2,3,4,5,6



集合と確率

集合Xの要素の数を|X|で表す

「3以下の目が出る確率」

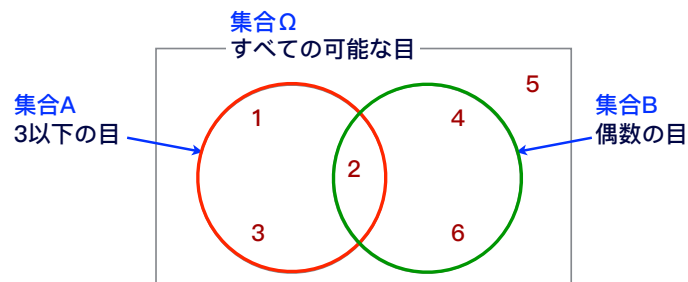
「偶数の目が出る確率」

$$|A|/|\Omega| = 3/6$$

$$|B|/|\Omega| = 3/6$$

P(A)で表す

P(B)で表す



集合と確率

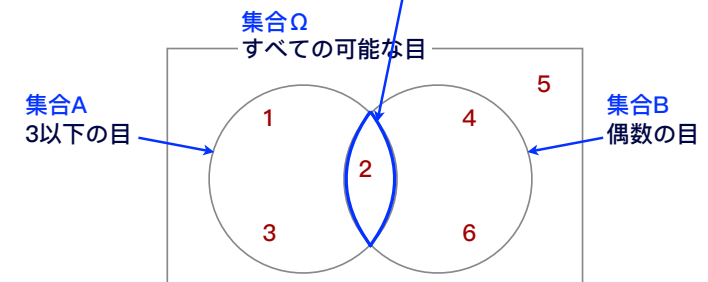
「3以下で、かつ偶数の目が出る確率」

$$|A \cap B|/|\Omega| = 1/6$$

3以下でかつ偶数の目の集合

P(A ∩ B)で表す

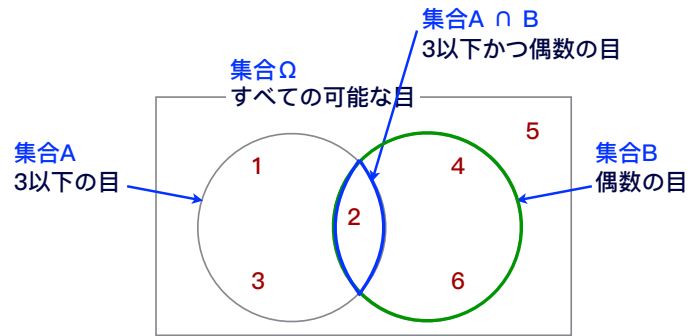
A ∩ B で表す



この式は何を表す？

$$|A \cap B| / |B|$$

分母が Ω ではなくB
「可能なすべての目」は
 Ω ではなくBになった



条件つき確率

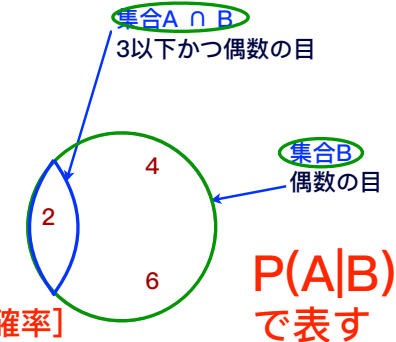
$$|A \cap B| / |B|$$

分母が Ω ではなくB
「可能なすべての目」は
 Ω ではなくBになった

偶数の目が出ると
わかっているときに

「^{わかっています}3以下かつ偶数」の
目が出る確率

偶数が出ることを
条件とする,
3以下が出る [条件つき確率]

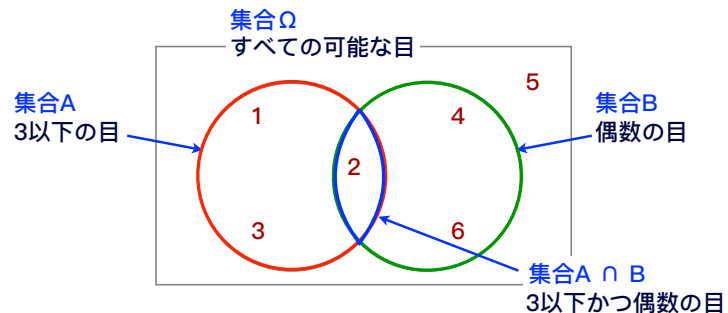


条件付き確率

「3以下の目が出る確率」 $P(A) = |A| / |\Omega| = 3/6 = 1/2$

偶数が出ることを条件とする,
3以下が出る条件つき確率 $P(A|B) = |A \cap B| / |B| = 1/3$

「偶数が出る」という情報によって,
3以下が出る確率が変化した

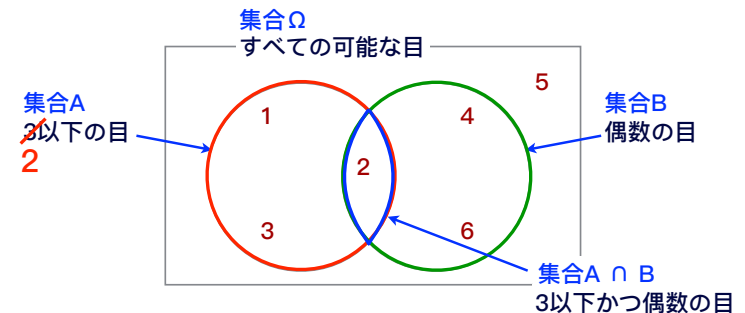


「2以下の目」だったら

「2以下の目が出る確率」 $P(A) = |A| / |\Omega| = 2/6 = 1/3$

偶数が出ることを条件とする,
2以下が出る条件つき確率 $P(A|B) = |A \cap B| / |B| = 1/3$

つまり
 $P(A) = P(A|B)$



「独立」

「2以下の目が出る確率」 $P(A) = |A| / |\Omega| = 2/6 = 1/3$
偶数が出ることを条件とする、
2以下が出る条件つき確率 $P(A|B) = |A \cap B| / |B| = 1/3$

つまり 2以下が出る確率は、「偶数が出る」
 $P(A) = P(A|B)$ という情報によっても、変化しない

$P(A) = P(A|B)$ のとき
「事象Aと事象Bは独立」という

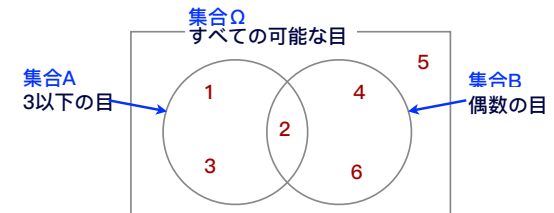
AとBが独立 = 「Bが起きる」ことがわかってても、
Aが起きる確率には影響がない

確率の積の法則

Bを条件とする、Aの条件つき確率

$$\begin{aligned} P(A|B) &= |A \cap B| / |B| \\ &= (|A \cap B| / |\Omega|) / (|B| / |\Omega|) \\ &= P(A \cap B) / P(B) \end{aligned}$$

つまり $P(A \cap B) = P(A|B)P(B)$



確率の積の法則

$$P(A \cap B) = P(A|B) \times P(B)$$

AとBの両方が
起きる確率

とりあえずBが
起きるものとして、
そのときにAが
起きる確率

ところで
Bが本当におきる確率

AとBが独立のときは、 $P(A|B) = P(A)$ だから
 $P(A \cap B) = P(A) \times P(B)$

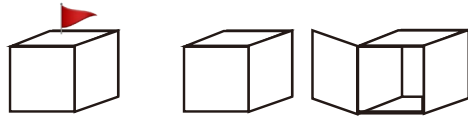
AとBが独立のときだけ、こうなることに注意

モンティ・ホール問題

モンティ・ホール問題

モンティ・ホール氏が司会するテレビ番組
箱が3つあり、ひとつだけに賞品
ゲストが箱をひとつ選ぶが、まだ開けない

モンティは賞品のありかを知っている。
ゲストが選ばなかった空箱を1つ開けて



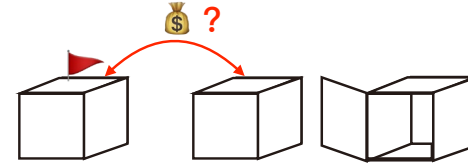
2019年度春学期 統計学

41- 33

モンティ・ホール問題

「いまなら、さっき選んだ箱ではなく、
まだ開けていないもう1つの箱を
選んでもかまいません」

選ぶ箱を変えるほうが、当たる確率が
大きくなるか？



2019年度春学期 統計学

41- 34

答えは

ゲストが選ぶ箱を変えないと、
当たる確率1/3

箱を変えると、当たる確率2/3

箱は残り2つだから、当たる確率は、
箱を変えても変えなくても1/2じゃないの？

2019年度春学期 統計学

41- 35

もっとも簡単な説明

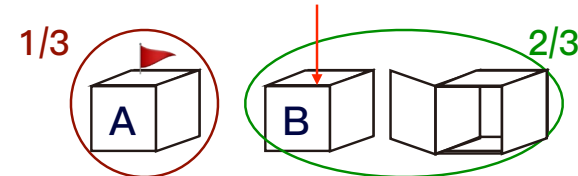
箱をA,B,Cとし、ゲストがAを選んだとする
賞品が Aにある確率 1/3

「BまたはC」にある確率 2/3

モンティが開けるのは必ず空の箱

→ 上の確率は、箱を開けても変わらない

ここに賞品がある確率2/3



2019年度春学期 統計学

41- 36

本当に正しいか？

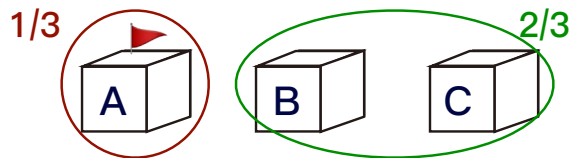
賞品が Aにある確率 $1/3$

「BまたはC」にある確率 $2/3$

この確率は、箱を開けても変わらない

本当か？

「モンティは、賞品がある箱は開けない」



2019年度春学期 統計学

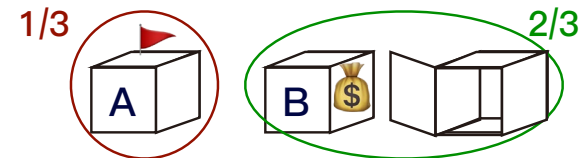
41- 37

本当に正しいか？

「モンティは、賞品のある箱は開けない」

賞品がBにあるなら、Cしか開けられない
賞品がCにあるなら、Bしか開けられない

「BまたはCにある確率 $2/3$ 」は、
箱を開けても変わらない



2019年度春学期 統計学

41- 38

本当に正しいか？

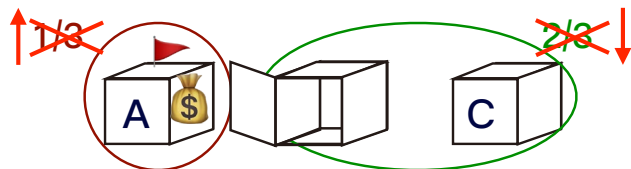
「モンティは、賞品のある箱は開けない」

賞品がAにあるときは？

モンティはB,Cのどちらを開けてもよい

もしも「賞品がAにあるときは、必ずBを
開ける」という裏ルールがあったら？

モンティがBを開けたら、賞品はAにある
可能性が高い



2019年度春学期 統計学

41- 39

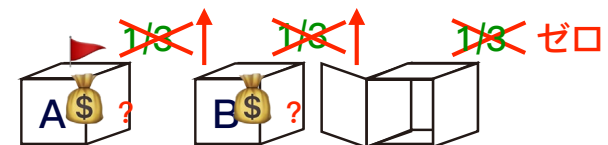
本当に正しいか？

「モンティは、賞品のある箱は開けない」

モンティが、↑これを守ってなかったら？

モンティは、実はA,B,Cを同じ確率でラン
ダムに選んでおり、今回たまたまCを開け
たら空だった、としたら

賞品がA,Bにある確率が平等に大きくなる



2019年度春学期 統計学

41- 40

この問題のポイントは

モンティの行動は、賞品のありかを知る手がかりになっているか？

それは、「他にどんな可能性があったか」によって変わる

それには、モンティの「心の中」が影響します。

